

圧力容器製造100年の技術と、設計から設置まで 一貫した生産体制でお客様の課題を解決します

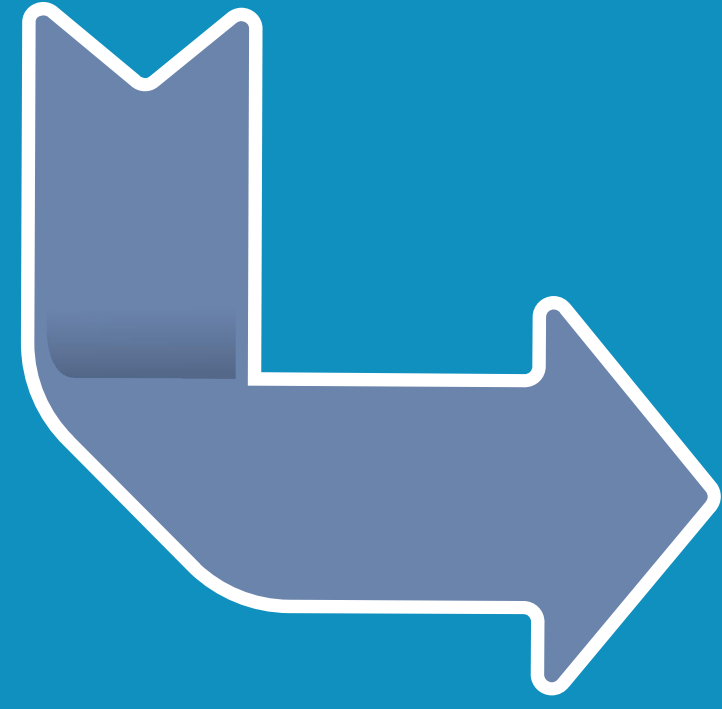


お客様

欲しい

変えたい

困っている



01
圧力容器設計
・CAD
・3D CAD

02
クラッチドア設計
・丸型クラッチ
・角型クラッチ

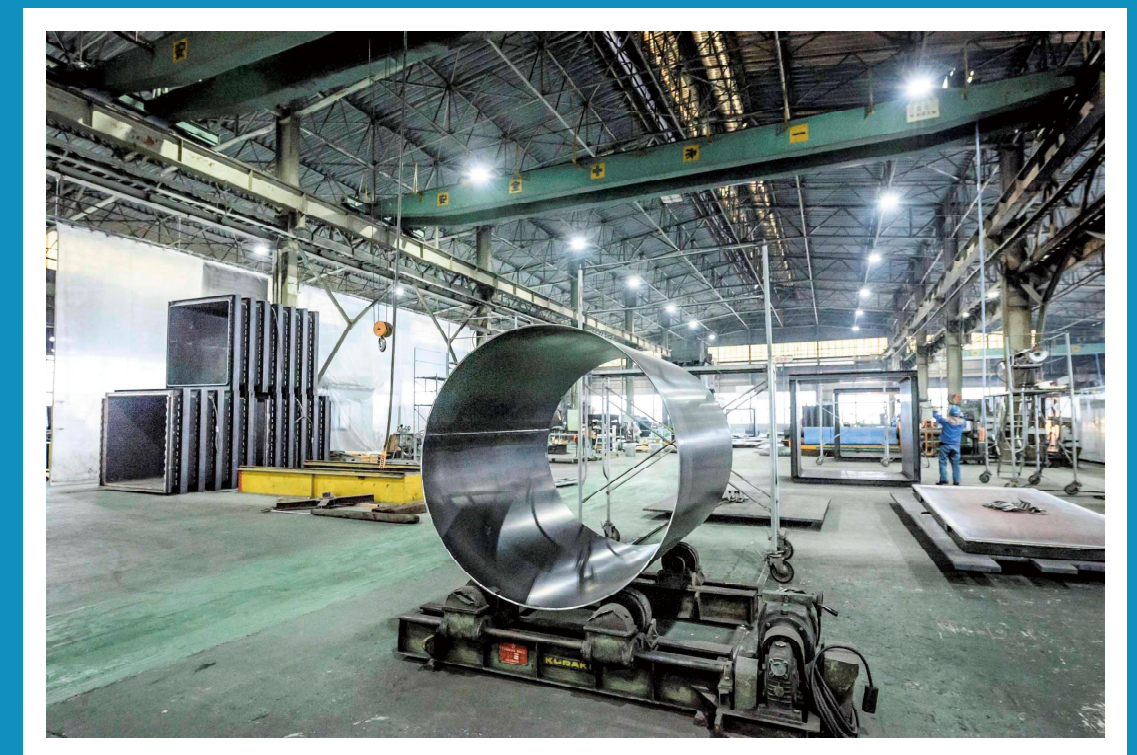
03
溶接技術
・SS/SUS
・AL ※要相談

**羽生田
技術**

05
制御設計
・各種制御設計
・制御盤製作

04
プロセス設計
・流体(気体/液体)
・温度、圧力

06
装置組立
・配管
・配線、計装



これらの技術を融合し
プロセスを装置化します

A社

木材防腐処理用
養生チャンバー

Q1：インラインで養生出来る角型真空チャンバーを設置できないか？（幅4.5m×奥行き0.7m×高さ0.7m）

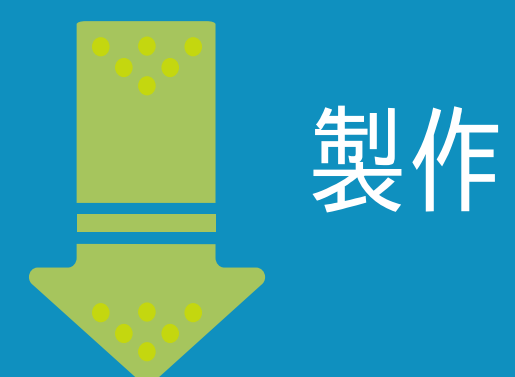
A1：チャンバー本体が電動で昇降（間口4.5m×0.7m）し、底面にローラーコンベアを設置して木材が自動搬送出来るよう提案。

Q2：エンドユーザーの希望により台車によるバッチ式に変更したい。

A2：側面扉が電動で昇降（間口1.4m×1.5m）し、ピット式にして台車が使用出来る構造を提案。

Q3：フォークリフトで搬送できるよう、既存建屋に設置したい。

A3：正面扉が電動で昇降（間口4.5m×1.5m）し、セルフシール出来る構造を提案。



製作

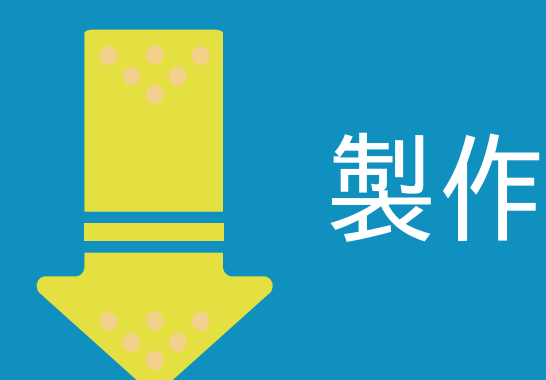


B社

10MPa高圧ガス容器用
クラッチマンホール

Q1：10MPa高圧ガス容器のボルト式マンホールをクラッチ式に変更したい。

A1：強度計算により10MPaに耐えるクラッチ構造を提案。



製作

生産性



マンホール開閉で変更前はM36のボルトを24本取り外していたが、クラッチ式に変更後は労力が激減して生産性が向上したため、大変ご満足頂いている。

大間口、セルフシール構造は初製作であったが、3D強度解析等DRを行い、リーク、変形が無い製品が出来上がった。また、架台を分割することで高さ制限のある建屋内にも設置することが出来た。

以前の設備より時間短縮でき、製品の仕上がりも良く高評価であった。



株式会社 羽生田鉄工所
HANYUDA CO., LTD.